

まえばし 市議会だより

No.170

2024・11

前橋市議会発行



— 主な内容 —

- 第3回定例会の概要…………… P.2
- 会派別の質問事項…………… P.3
- 総括質問…………… P.4～10
- 議案の議決結果…………… P.11
- 意見書…………… P.12

開園70周年を迎えた「るなぱあく」



前橋市議会ホームページ

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/gikai/index.html>

第三回定例会を九月三日から二十六日まで開き、令和五年度各会計決算認定など市長提出議案三十五件、議会議案二件、意見書案八件を審議しました。その概要を紹介します。

○第1日（9月3日）

笠原議長が第三回定例会の開会宣言後、会期を二十六日まで、の二十四日間とすることを決め、三人の会議録署名議員を指名しました。

次に、ICT利便性向上調査特別委員会の調査研究報告を委員長が行った後、同委員会の調査を終了することを決めました。

○第2日（9月10日）

続いて、市長提出議案「令和五年度前橋市一般会計決算認定」など二十九件の議案を上程し、小川市長から各会計決算認定議案について、所管の各部長からその他の議案についてそれぞれ説明がありました。

○第3日（9月11日）

上程中の議案や市政に対し、十人の議員が総括質問を行い、市長や所管の部長などがこれに答えました。（総括質問の要旨は4ページ10ページに掲載）

○第4日（9月26日）

前日に続き、十三人の議員が総括質問を行いました。次に、上程中の議案のうち各会計決算認定議案十二件については更に詳しく審査するため、各常任委員会に付託しました。続いて、委員会への付託を省略した十七議案について、日本

共産党市議団から議案第九十七号など三議案に対する反対討論、かがやきから議案第九十七号に対する反対討論の後、採決を行い、全て原案のとおり可決しました。（議決結果は11ページに掲載）

次に、県外先進地調査のため議員派遣三件を議題とし、申し出のとおり承認しました。

常任委員会に付託した各会計決算認定議案十二件の審査結果について、各委員長がいずれも可決及び認定すべきものと報告しました。

委員長報告の後、日本共産党市議団から反対討論、前橋令明、前橋高志会、公明党市議団、市民フォーラムから賛成討論があり、採決を行った結果、各議案を委員長報告のとおり全て可決及び認定しました。

次に、市長提出追加議案として、人事議案（件名及び氏名は11ページに掲載）五件及び議案第一百十九号「令和六年度前橋市一般

設置以来、市当局からの聞き取りや有識者との意見交換、委員間での活発な議論を行うとともに、県外調査などを実施し、令和六年八月に提言書を小川市長に提出しました。

令和三年六月に設置したICT利便性向上調査特別委員会の調査研究が、今定例会における委員長報告をもって終了しました。

設置以来、市当局からの聞き取りや有識者との意見交換、委員間での活発な議論を行うとともに、県外調査などを実施し、令和六年八月に提言書を小川市長に提出しました。

提言書においては、ICTを活用した市民サービスの提供やデジタルが苦手な人への配慮、地域課題の解決を図るためのDX推進、ICT化に対応する予算の安定的な確保などについて要望しました。



提言書を小川市長に提出

5年度の各会計決算を認定 一般会計歳出決算額は1516億円

会計補正予算」を上程し、採決を行った結果、いずれも同意及び可決しました。

次に、議会議案「前橋市議会会議規則の改正について」及び「前橋市議会委員会条例の改正について」を上程し、採決の結果、賛成全員で可決しました。

続いて、議会の意思として、市民の公益に関する意見を国会や関係行政庁に提出しようとする意見書案八件を上程し、採決の結果、「ブラッドパッチ療法の先進医療体制の充実等を求める意見書」を可決し、第三回定例会は閉会しました。（可決した意見書の要旨は12ページに掲載）

会派別の質問事項

□前橋令明 ①まちづくり②事業の総点検③資産活用④防災と災害⑤子供政策⑥動物愛護⑦市民サービス向上⑧環境への取組⑨市民活動支援⑩教育行政⑪農業政策⑫道路附属物長寿命化修繕計画事業⑬保育給付費等管理システムの導入⑭大前田樋越産業団地⑮建設発生土処分場⑯選挙⑰地域の課題⑱消防行政⑲暑さ対策⑳グリーンドーム前橋㉑スポーツ行政㉒二〇四〇年問題㉓給食費の無償化㉔イベント会場㉕サーカスの前橋公演㉖前橋

競輪事業㉗公開緑地整備事業

□前橋高志会 ①ヤングケアラ

ーの支援②防災、減災③交通政策④農業政策⑤消防業務⑥第八十三回国民スポーツ大会、第二十八回全国障害者スポーツ大会⑦スポーツ施設の管理⑧小中学校における現代アート鑑賞の取組⑨まえばし医療センター⑩駒寄スマートインターチェンジ産業団地⑪地域の諸課題⑫職員の昇任昇格⑬水道事業⑭市民税⑮交通施策⑯就職氷河期世代活躍支援事業⑰農業のDX化

□公明党市議団 ①事業総点検②こども基本条例制定③分かり

やすいデジタル支援④安心して暮らせるまち前橋⑤学びの保障に向けた取組⑥学校の適正規模⑦産業団地開発⑧協同労働の推進

□日本共産党市議団 ①公共交

通施策の改善充実②三歳未満児の保育料の無償化③前橋テルサの解体方針④市立図書館新本館移設へ向けての課題⑤学校給食費完全無償化の早期実施⑥米不足への緊急対策

□市民フォーラム ①令和五年

度各会計決算②児童生徒が保護者の休暇に合わせて学校を休める制度③障害者就業・生活支援

令和5年度各会計決算		
会計名	歳入	歳出
一般会計	1,564億1,623万円	1,515億9,573万円
特別会計	国民健康保険	330億6,485万円
	後期高齢者医療	50億4,356万円
	競輪	285億518万円
	介護保険	340億9,596万円
	母子父子寡婦福祉金	6,965万円
	新エネルギー発電事業	1億2,257万円
	用地先行取得事業	-
企業会計	産業立地推進事業	26億8,942万円
	合計	1,035億9,119万円
	支出	1,023億5,843万円
会計名	収入	支出
企業会計	水道事業	99億279万円
	下水道事業	115億7,408万円
	農業集落排水事業	98億5,059万円
	合計	120億5,850万円
		20億6,230万円
		217億5,303万円
		256億9,488万円

※金額は1万円未満を整理しています。

※水道事業、下水道事業及び農業集落排水事業の支出は、現金支出を伴わない減価償却費等を含んでいます。

センター④カスタマーハラスメント⑤労働行政、誰もが働きやすい環境づくり⑥各種施策、計画における検証、見える化⑦子供真ん中誰もが輝けるインクルーシブ共生社会づくり⑧本市職員の働き方と公共サービスの維持向上

□かがやき ①学校における教

材等の調達②出産、子育て支援事業③消費者教育推進事業④新前橋駅周辺地区⑤地域の諸課題⑥前橋テルサと市内文化施設並びに市街地再開発の関係

□なないろ ①教育②学習支援

③新型コロナウイルスワクチン

④保護猫対策

□赤利根 ①新しい価値の創造

②中心市街地

□七星 ①自治会活動②農業政

策③ハザードマップによる影響

□さがけ赤城 ①スローシテ

イエリアでの芸術祭②森林環境

譲与税の活用と森林整備

□わくわく前橋 ①文化施設の

運営②復興資料館③生態系保全

④市民生活におけるニーズ調査

⑤市営駐車場の運営

□まえばし維新の会 ①大阪・

関西万博②ペットツーリズム③

森林経営管理法④本市の公共交

通⑤前橋テルサの廃止、解体決

質問



前橋 令明
堤 波志芽



前橋テルサ解体後の暫定利用

〈問〉前橋テルサは、管理や老朽化した設備の更新などに多額の費用が必要で、民間の引受先も見つからないため、解体の方針が決まったようですが、解体後の代替広場としての暫定利用は、前橋商工会議所や市民の声を反映した結論なのか、暫定利用後の将来的な活用策はどのように検討しているのか伺います。

〈答〉前橋商工会議所からも、広場としての暫定利用に関する提案が提出され、市の方向性、街なかの声と同じ方向性であるため今回の判断をしました。将来的な活用策も、前橋商工会議所や街なかの皆さんと連携しながら進めたいと考えています。

市役所本庁舎のスペース活用

〈問〉市役所本庁舎内は執務室の配置変更が行われ、十二階には執務室がなくなり、地下一階は地下食堂が廃止されるなど、スペースの使われ方に変化がありました。地下食堂跡地及び十二階について①現在の活用状況②今後の活用案を伺います。

〈答〉①地下食堂跡地は、現在、市庁舎E S C O事業の施工業者

の現場事務所となっています。十二階は、倉庫と臨時的な窓口を設営するスペースとして活用していて、南と北の窓側は、展望フロアとして開放しています②地下食堂跡地は、現場事務所としての使用後は倉庫として活用し、十二階は、誰もが利用できる憩いのスペースとして、展望フロアを拡張する方向で検討したいと考えています。



前橋 令明
市村 均光



学習支援以外でのICT活用

〈問〉本市では、学校でL T Eモデルのタブレットを活用していることから、個別最適化の学びにとどまらず、さまざまな活用方法が期待されています。令和六年第二回定例会で質問した不登校児童生徒オンライン支援のその後の進捗状況とその他、学習支援以外でのICTの活用について伺います。

〈答〉不登校児童生徒オンライン支援は、市立小中学校の児童生徒を対象に令和六年十月より正式に運用を行い、状況を見ながら配信日を増やす予定です。学習支援以外でのICT活用は、ヤングケアラーへの相談支援において、これまでの電話やメー

ルなどの相談に加えて、児童生徒用タブレットP C内アプリ、すぐるを活用したチャット形式での相談を新たに実施します。

小規模で高齢な農業者への支援

〈問〉小規模であっても営農を継続している高齢農業者へ支援を行う、前橋市ががんばる高齢農家営農継続支援事業への申請が、令和五年度に比べ、令和六年度に多くの申請があったことは、まだまだ元気な高齢農業者がいる証拠だと思っています。今後の支援、取組について伺います。

〈答〉今後の取組について、今年度の状況でも分かりますが頑張っている高齢者がたくさんいます。営農を継続支援することで耕作放棄地の発生防止や有害鳥獣の抑制など、農林地区の環境保全にもつながるので、引き続き支援したいと考えています。



前橋 令明
阿部 忠幸



大前田樋越産業団地

〈問〉大前田、樋越地区は交通アクセスに優れ、浸水想定区域外です。この地区に産業団地を開発すれば、企業立地による雇用を生み出し、地域を活性化できるとの期待の声を聞いています。大前田樋越産業団地につい

て、今後の取組と企業からの引き合いの状況を伺います。

〈答〉産業団地開発に当たっては、令和七年度に改定が予定されている都市計画マスタープランに位置づけたうえで、農振除外などの土地利用調整手続きを進める必要がありますが、分譲までの期間の早期化を意識し、取り組みたいと考えています。企業からの引き合いの状況は、大前田、樋越地区に興味を抱いた複数の市内、市外の企業から問い合わせをもらっています。

建設発生土処分場

〈問〉大胡地区の堀越町地内建設発生土処分場は、令和七年九月に事業終了予定と説明がありましたが、埋め立て完了後の利用の方向性について伺います。

〈答〉建設発生土処分事業を実施している堀越町の市有地は、前橋市緑の基本計画で環境改善公園の計画地として位置づけていますが、盛土による造成地であることや南北に細長く高低差のあることなど、当該土地の特性に加えて、地域の要望などを踏まえ、今後民間活力の導入の方向で検討を進め、早期に活用方針を示したいと考えています。





前橋市明
須賀 博史



ザスパ群馬への今後の取組

〈問〉富田町にザスパパークが完成し、ザスパ群馬が地域に愛されているクラブになっていると実感しています。今後、市民が盛り上げられるよう、市が主体となってシビックプライドを更に醸成するような取組が必要だと思いますが、見解を伺います。

〈答〉よりクラブに親しみを持ってもらえるよう、学校でのサッカー教室や他のプロスポーツチームとの連携など、クラブの意向を聞きながら新たな取組を検討し、市民全体が盛り上げられる事業を進めたいと考えます。

グリーンドーム前橋

〈問〉以前、グリーンドーム前橋のメインイベントエリアに設置されているステージと可動席の故障に関する質問、答弁があり、令和七年度の予算編成が始



日本トータグリーンドーム前橋

まるまでには方針を決定したいということでした。その後、方針は決定したのか伺います。

〈答〉競輪事業を取り巻く財政状況が劇的に改善することがない限り、アリーナ内のステージと可動席の改修は行わない方針を決定しましたが、メインスタンドの可動席は来場者の安全確保のため、突然落下しないよう固定化工事を実施したいと考えていて、できる限り費用を抑制する方法を探りながら進めたいと考えています。



前橋市明
横山 勝彦



給食費無償化の在り方

〈問〉築三十年を迎える東部共同調理場は、今後の更新計画についての協議を進めているということですが、給食費の無償化が先か、施設の建て替えが先か、双方とも多額の費用がかかり、選択、判断が必要です。これからのような考え方で対応するのか、市長の見解を伺います。

〈答〉共同調理場の建て替えは、給食費の無償化のタイミングにかかわらず、これまでの計画に基づきしっかり進め、給食費の無償化も、事業の点検や効果検証などを継続して実施しながら

財源確保に努め、適切な実施時期を判断したいと考えています。

市民文化会館の大規模改修

〈問〉市民文化会館は、大、小ホールの舞台機構が耐用年数を大幅に経過していて、大規模な改修が必要です。耐用年数を経過した中での利用は、市民の舞台利用に支障を来すおそれがあり、安全面でも問題があると思うのですが、今後の大規模な改修計画について伺います。

〈答〉舞台機構の大規模改修を実施する際にはホールの閉館が必要で、利用者の不便を軽減するため、大、小ホールの分割改修の可能性を研究したいと考えます。設計及び工事期間は二年から三年を予定していて、費用は十数億円を見込んでいます。



前橋高志会
小曾根 英明



スポーツ施設の管理

〈問〉市有スポーツ施設は多くが老朽化していることから、施設の修繕に当たっては、安全性を最優先として修繕、維持管理を行っている認識しています。

一方、競技に必要な大型器具や計測器なども老朽化や故障などによる定期的な更新、あるいは新規購入が必要となってくるも

のと考えますが、その対応について伺います。

〈答〉予算的な制限もあることから、更新や新規購入については市民大会や大規模大会での利用状況も踏まえつつ、重要度、有用度の観点で優先順位をつけて購入などを進めていきます。

まえばし医療センター

〈問〉夜間休日診療所の開設に当たり、休日昼診療についてどのような見直しを図ったか、また、まえばし医療センターの混雑状況について伺います。

〈答〉駐車場の確保や感染症専用エリアの設置などの整備を行い、特に混雑することの多かった小児科について、夜間休日診療所の休日昼診療に係る医師の配置を二人にするなど、診療体制の強化を図ってきました。しかし、大型連休などの時期は、これまでと同様に待ってもらう状況が生じています。

旧副知事公舎

〈問〉市立図書館の東にある旧副知事公舎について、管理や活用の現状を伺います。

〈答〉県が所有、管理を行っていて、職員が随時見回りをして枝の剪定や目隠し板の修繕を行っています。施設を利用する見込みはなく、跡地利用も見通せ

ないことから、建物解体の予定もないそうです。本市も市有資産として保有資産を純増させる考えは現在のところありません。



前橋高志会
山田 秀明



水道料金改定の周知方法

〈問〉令和四年度から令和七年度までの財政計画において、財政基盤の強化を図るべく、平均改定率二・七％程度の水道料金改定が行われ、激変緩和措置として二段階方式による改定が行われていると理解しています。二段階目として、令和七年四月から平均四％程度の改定が行われる予定とされていますが、改定の周知方法などどのようなに行うのか伺います。

〈答〉令和六年十月一日号の広報まえばしに掲載するとともに、市のホームページにおいても水道料金改定の概要や新料金の適用時期などについて分かりやすく掲載する予定です。また、令和七年一月及び二月の検針時には、戸別に周知チラシを配布する予定です。

職員の昇任昇格

〈問〉幅広い視点で職員が希望を持って職務に取り組める環境整備、また待遇の見直しが必要

だと考えています。それは職員の仕事に対する向き合い方、また仕事に対する情熱を向上させることにもなり、管理職への昇任希望がある職員にとっては、その意欲も加味して昇任させることで、本人のモチベーションの向上にもつながると思います。職員自身の昇任への意欲をじゅうぶんに考慮して昇任させることで、組織の活性化にもつながると思います。当局的考え方について伺います。

〈答〉昇任、昇格は本人のモチベーションアップにつながると考えられ、組織の活性化につながるものと認識しています。今後についても、本人の意欲や希望などが反映できる昇任、昇格の方法について、継続して研究していきたいと考えています。



前橋高志会
藤江 彰



赤城の恵、大島梨

〈問〉赤城の恵ブランドに認証されている大島梨は、江戸時代から栽培が続く本市を代表する果樹の一つです。伝統ある大島梨を守り、未来へつないでいく必要があると感じていますが、どのように認識されているのか伺います。

〈答〉大島梨は赤城の恵ブランド認証制度の開始初年度から認証されており、本市もさまざまな販売促進活動を行ってききました。認証制度やPR活動により、大島梨のブランド力を高め、認知度向上と販路拡大につなげていくことで次世代へと続くよう支援したいと思っています。

公共交通のサブスク

〈問〉GunMaasを通じた公共交通の利用促進は、外出機会の創出などの社会的効果があります。市内の公共交通機関が乗り放題になるサブスクチケットの導入により、車から公共交通へとライフスタイルの変化を促す可能性があると思いますが、見解を伺います。

〈答〉定額制チケットの販売は、利用者の利便性向上や利用データの取得も可能となります。それらの調査、分析を進め、市民ニーズに即したチケットを研究していきたいと考えています。

上毛電鉄にICカードを

〈問〉上毛電鉄では交通系ICカードが利用できず、GunMaasで一体的な施策を実施する際のネックになっています。利用者増加策としても導入すべきですが、考え方を伺います。

〈答〉本市では、全路線のバス



上毛電鉄

にICカードを導入した際に利用者が増加した経緯があります。引き続き、上毛電鉄のほか、国や県、沿線市と協議していきたいと考えています。



公明党市議員
中里 武



前橋版デジタルハンドブック

〈問〉前橋版デジタルハンドブックの作成について、デジタルよろず相談所における内容を中心に、デジタルサポーターのマニュアルとして活用、また市民に配布することが重要と考えますが、見解を伺います。

〈答〉デジタルよろず相談所のような対面形式で相談に対応できる方法が望ましいと考え、相談者に対して自分自身で記録できるデジタル手帳を配布し、繰り返し復習できるようにしています。また、デジタルサポーターへのツールとして、相談所への質問回答やデジタル施策の概



要をまとめた資料の準備を事業者と連携しながら進めています。

こどもマイタク実施へ

〔問〕サブスク、AI配車を含めたこどもマイタク実施に向けての研究、検討、議論を進めていくべきと考えますが、当局の見解を伺います。

〔答〕他の自治体の先行事例を研究しながら、また現行のキックバックシーを活用する方法も含め、関係部署やタクシー事業者と慎重に検討を進めていきたいと考えています。サブスクやAI配車による相乗りについても、将来的な取組課題として県や関係事業者と検討を進めていきたいと考えています。

地域見守り支援の協定の在り方

〔問〕県が各種団体と締結している地域見守り支援に関する協定について、現場感覚を反映した協定の在り方、取組が問われていると感じています。実態に即した市独自の協定を締結して

いるところも数多くあることから、本市における協定の締結に向けた考え方について伺います。

〔答〕市独自の協定を締結する方法もありますが、県が締結している協定が一定の役割を果たしていることから、まずは時代に即したものとなるよう、庁内の関係課を通じて県の担当部署に現場の声を伝えていきたいと考えています。



公明党市議員
高橋 照代



協同労働の周知

〔問〕協同労働で担える事業は地域貢献に資する事業であることと定められていることから、地域の課題解決に取り組む市民活動との親和性が高いと考えています。労働者協同組合法が施行された令和四年十月一日からの三年間は、既存のNPO法人に限り、解散せずに労働者協同組合に組織変更ができる移行措置期間となっていて、資金不足に悩む市民団体などにとって活動の継続を可能とするこの仕組みを周知する必要があると考えます。Mサポにおける協同労働の周知啓発のこれまでの取組と

今後の取組について伺います。

〔答〕協同労働について広く認識してもらうために、関係するチラシをMサポに設置したり、登録団体へメールマガジン内で紹介したりして周知を図っています。また、NPO法人やボランティア団体などを対象とする協同労働セミナーを開催し、協同労働に係る周知と理解の促進を図りました。協同労働という働き方は、地域社会で必要とされる仕事を担い、地域課題の解決や地域の活性化につながることも考えられるため、より多くの人に関心を持ってもらえるよう、関係部署と連携を図りながら、多様な周知活動を引き続き行っていきたいと考えています。



日本共産党市議員
吉田 直弘



前橋テルサの解体方針

〔問〕前橋テルサの解体方針について①全市民を対象としたタウンミーティングなどを行い、住民意見の聴取と住民合意による慎重な検討②市民の貴重な発表の場の存続、温水プールの再開を求める声も寄せられている中での大規模改修について、見解を伺います。

〔答〕①事業提案型公募の実施

結果や多額の改修費が見込まれることを踏まえ、今回の結論に至りました。将来的な活用策は現時点では決まっていないので、再開発事業の進捗に伴うまちの動きや社会情勢を踏まえ、さまざまな意見を聴きながら検討していきたいと考えています②必要最低限の改修に二十億円近くの財政負担を見込んでいますが、プールの再開などに係るテナント改修費用は含んでいないため、さまざまな要望に応えるほど財政負担は膨らみます。多くの設備が全館運転を前提とした設計となっていて、一部の再開は改修費や維持管理費の圧縮につながらないため、持続的な運営は難しいと考えています。



日本共産党市議員
小林 久子



小学校給食費の無償化

〔問〕学校給食費の完全無償化は、子育て支援の最重点施策として取り組むことが必要と考えます。令和六年六月から市立中学校の学校給食費が無償となり、子育て世帯からたいへん歓迎されています。しかし、なぜ小学校も無償にできなかったのかとの

質問

声が聞かれるように、無償化を求める機運がたいへん高くなっています。県内三十五の自治体のうち、既に完全無償化を実施している自治体は二十一の市町村に広がっています。小学校給食費の無償化の早期実施について見解を伺います。

〔答〕子ども、子育て支援策は本市の最優先課題と位置づけています。小学校給食費の無償化の早期実現を望む市民の期待も大きいと感じています。しっかりと全体を見直した中で必要な財源を確保できるようにしていきたいと思っています。適切な実施時期について今後判断し、実現に向けて市議会の皆さんと一緒に一つずつ課題をクリアして進んでいるところです。



日本共産党市議員
長谷川 薫

交通施策の改善

〔問〕①マイバスの新規路線の拡大について②遠隔地の医療機関への通院や家族の付き添いで、マイタクの利用が多い皆さんに対しては、特例の申請制度を創設して年間利用回数を増やすべきですが、見解を伺います。

〔答〕①多額の予算が必要となり、既存バス路線との競合によ



マイバス

る収益性の悪化という課題があるため、現時点での導入は難しく、各交通施策を注視し慎重に検討したいと考えています②個別の支援を拡充するためには、対象とする疾患や通院頻度と併せ、他の公的支援への影響など、さまざまな点について検討する必要がありますと考えています。

三歳未満児保育料完全無償化

〔問〕三歳未満児の保育料を完全無償化にすべきだと思いが見解を伺います。

〔答〕約二千六百三十人が保育料算定の対象となっていて、約七・九億円の新たな財源負担が毎年度必要になると見込んでいます。実施に向けては、市全体の事業の優先順位を考え、対応する必要があると考えています。



市民フォーラム
角田 修一



ラーケーションの導入

〔問〕家庭での体験活動を支援

する制度であるラーケーションは、事前に申請すれば児童生徒が保護者の休暇に合わせて学校を休める制度です。自治体では愛知県を皮切りに導入を決定しています。家族と一緒に過ごす時間を増やすことはたいせつと考えますが、見解を伺います。

〔答〕児童生徒が保護者と一緒に学校外で体験を積むことは貴重な経験となり、教育的意義のある取組であると捉えています。学校や保護者の負担にならないよう事前に、タブレット端末を利用するなどしてラーケーションの理解を広げ、保護者のニーズを把握していきたいと考えています。

カスタマーハラスメント対策

〔問〕窓口の防犯カメラ設置や電話録音機能の導入を検討すべきと考えますが見解を伺います。

〔答〕市庁舎の防犯カメラは、一階に五台、二階以上のフロアに七台あり、このうち八台が窓口を撮影できる角度で設置してあります。電話録音については、各所属に配置している電話機には録音機能はついていないので、今後の防犯カメラの増設や電話録音機能の導入は、各課の業務状況や要望などを踏まえて検討していきたいと考えています。



市民フォーラム
三森 和也



AIを活用した漏水調査

〔問〕AIが漏水リスクを示す手法は、労働環境の改善による公共サービスの維持向上につながるからたいへん重要な取組であると考えています。職員の労働環境の改善の観点から見解を伺います。

〔答〕新技術である人工衛星から得られるデータとAIを活用した漏水調査を行うことにより、漏水リスクが高いと判断されたエリアを絞り込むことができ、漏水を発見するペースが向上し、業務の効率化が図られるとともに、長時間労働の防止と体力的、精神的な負担軽減といった職員の労働環境の改善に大きく寄与するものと考えています。

在宅ワーク

〔問〕在宅ワークのニーズの高まりにより、在宅介護者や育児



在宅ワーク

中の皆さんの働きやすい環境づくりについて、どのような施策展開を考えているのか伺います。

〔答〕令和六年度の女性活躍推進事業として在宅ワークを行うためのスキルアップセミナーを開催し、自分のライフスタイルに合った柔軟な働き方を推進しています。在宅ワークに必要なデジタルスキルの習得を目的とし、就業先へのマッチングまでを支援する内容となっています。



かがやき
宮崎 裕紀子



前橋テルサ解体についての意見

〔問〕前橋テルサの解体についての意見を、前橋テルサ解体前に市民から直接聞く、テーマを絞ったタウンミーティングなどを開催する必要があると考えますが、市長の考えを伺います。

〔答〕前橋テルサの解体については、今までの議会のやり取りなども踏まえての結論となります。



前橋テルサ

す。文化施設の位置づけではないことも改めて伝えます。ホールなどについて、懸念の声もあることは承知しているので、文化行政のタウンミーティングの実施については、前向きに検討したいと思っています。文化施設の利用について、まず現状をしっかりと調査して、それぞれの資源を有効に活用できるように仕組みも整えていきたいと考えています。



かがやき
浅井 雅彦



保育ニーズ

〔問〕市内の一部の地域では、希望する保育施設にたいへん入りづらく、地域の偏りを踏まえた定員の増減調整などの対応も必要と考えます。保育の市全体における需給調整をどのように進め、並行して保育ニーズの偏りに対してどのような対策を取っていくのか伺います。

〔答〕民間を含めた保育施設の利用定員の見直し調整を必要に応じて認めながら、地域の状況に合わせた公立保育所の再整備と統合を通じて、市全体におけ

る必要量の調整を図っていききたいと考えています。

学校教材の調達の公会計化

〔問〕学校における教材の調達では、保護者からの集金、教材の発注、納入業者への支払いなどで大きな課題があると認識しています。課題解消に向けて公会計化への検討も必要と感じますが、見解を伺います。

〔答〕まずは集金方法の改善について検討しています。公会計化については導入事例も少ない状況なので、メリット、デメリットを整理し、継続的に検討していきたいと考えています。

江田天川大島線

〔問〕江田天川大島線は、本市と高崎市を接続する都市間広域幹線道路であるため、群馬県に対して県道昇格及び未整備区間の新規事業化について長期間にわたり要望していますが、いまだに事業化に至らない状況です。江田天川大島線の今後の方針について伺います。

〔答〕江田天川大島線は都市間連携の強化を図る重要な路線であることから、地域住民の意向を確認しながら、群馬県に対して引き続き県道昇格及び新規事業化について要望を行っていきたいと考えています。



なないろ
入澤 繭子



新型コロナウイルスワクチン

〔問〕新型コロナウイルスワクチン接種後に、副反応や重い健康被害が生じた場合の対応を伺います。

〔答〕市が経過や症状を聞き取り、必要に応じて県が設置している専門相談窓口や医療機関を紹介しています。健康被害が接種を受けたものによると認められた場合、国の健康被害救済制度により医療費や医療手当、障害年金などの給付が行われます。

市営住宅の有効活用

〔問〕本市の市営住宅において、一棟を丸ごとペットが飼える専用棟にすれば、保護猫を譲渡した飼い主を入居させることなどができ、有効活用につながると思いますが、見解を伺います。

〔答〕令和七年度に予定している前橋市公営住宅等長寿命化計画の改定に合わせ、他市の事例や取組なども参考にしながら研究していきたいと考えています。



赤利根
岡 正己



創造的な作業への転換

〔問〕障害福祉サービス事業所と本市の特色である農業や製造

総括質問

業などの結びつきを通して、これまでの内職的な作業から創造的な作業への転換を目指した取組の必要性を感じますが、今後の考え方について伺います。

〔答〕 創造的な活動を通じ、地元産業との協業による工賃向上、地域との結びつきを高める取組を支援したいと考えています。

図書館の跡利用

〔問〕 図書館新本館は、現在、図書館本館及び前橋こども図書館を移転統合することで計画が進められています。それぞれの施設の跡利用について、どのように決定していくのか伺います。

〔答〕 全庁的な調査を実施し、活用方法を検討する予定ですが、前橋こども図書館は、子育てに関連するスペースとして活用を検討したいと考えています。



七星
中林 章



赤城の恵ブランド

〔問〕 農業所得向上の戦略の一つである赤城の恵ブランドを勝ち組にすることが、農業振興にとって早道になると信じます。赤城の恵ブランドの新たな施策を考えているのか、伺います。

〔答〕 制度の抜本的な見直しも視野に入れ、前橋市農畜産物と

して市内外に広め、前橋市のお土産と言えこれというものを目指したいと考えています。

ハザードマップ

〔問〕 千年に一度の災害に備え、ハザードマップが全戸配布されていますが、どのくらい雨が降ると、どの地域で、どのような被害が発生するのか伺います。

〔答〕 約四百ミリから六百ミリの雨が一日から三日降り続いた場合、主に市の南部の地域では深い浸水が見込まれるほか、利根川の沿岸部では河岸が侵食されるなどの被害が想定されます。



さきがけ赤城
近藤 登



スローシティエリアでの芸術祭

〔問〕 国内最大級と言われる大地の芸術祭は、開催地である越後妻有地域の活性化や移住者の呼び込みなどに大きく寄与しています。そこで、本市のスローシティエリアにおける芸術祭の開催に対する見解を伺います。

〔答〕 実施に当たっては地域住民や関係者の理解、支援などがないと難しいため、今後調査研究を進めていきたいと考えます。

森林環境譲与税の活用

〔問〕 森林環境譲与税を活用して、本市産の木材を児童の机の

天板に活用できないか、見解を伺います。

〔答〕 一部の市立学校で設置した際、耐久性に課題があり、継続的な設置が難しい状況でした。加工技術によって物品の耐久性が高まったとのことですので、今後の活用について検討していきたいと考えています。



わくわく前橋
林 倫史



自然環境調査の展望

〔問〕 自然環境調査の調査結果を、本市の環境政策にどのように役立てるのか展望を伺います。

〔答〕 大きな環境の変化や破壊がないかの確認や、本市の生態系、珍しい動植物へのクロウズアップなど調査結果を生かした環境施策に注力し、SNSなどによる周知や市民参加型の調査など、生物を身近に感じてもらう取組を進めたいと考えます。

立体駐車場の利便性向上

〔問〕 城東町立体駐車場では大きなイベントのときなどは、出庫にたいへん時間がかかっているようです。利便性向上のため、事前精算機を導入することについて、当局の見解を伺います。

〔答〕 導入による費用対効果や、渋滞発生は年数回のイベント時

であることから、ちかぢかの導入は困難ですが、今後も検討を進めていきたいと考えています。



まえばし維新の会
小川 栄治



万博の学校教育への利活用

〔問〕 大阪・関西万博は教育的観点から見ても、とても有用性の高いものだと思います。学校教育でどのように利活用するのか見解を伺います。

〔答〕 世界中から集まった最先端技術や英知を体験でき、多様な文化や価値観に触れることができる教育的価値の高いものだと考えています。これまで修学旅行への活用案内の通知を通して、各学校に周知してきました。修学旅行の見学先として計画を立てている中学校もあります。

ラジオ送信アンテナの再設置

〔問〕 前橋テルサ廃止に伴う、防災ラジオ送信アンテナの再設置計画について伺います。

〔答〕 現時点では未定ですが、今後まえばしCITYエフエムと協議を行い、送信環境が良好な場所を精査し、再設置を行いたいと考えています。



議案の議決結果

第3回定例会に提出された議案の議決結果は次のとおりです。

○市長提出議案

※賛成・反対の双方があった案件は網掛けで表示しています。

議案	件名	議決結果
第85号	令和5年度前橋市一般会計決算認定について	可決(多数)
第86号	令和5年度前橋市国民健康保険特別会計決算認定について	可決(多数)
第87号	令和5年度前橋市後期高齢者医療特別会計決算認定について	可決(多数)
第88号	令和5年度前橋市競輪特別会計決算認定について	可決(多数)
第89号	令和5年度前橋市介護保険特別会計決算認定について	可決(多数)
第90号	令和5年度前橋市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計決算認定について	可決(全員)
第91号	令和5年度前橋市新エネルギー発電事業特別会計決算認定について	可決(全員)
第92号	令和5年度前橋市用地先行取得事業特別会計決算認定について	可決(全員)
第93号	令和5年度前橋市産業立地推進事業特別会計決算認定について	可決(多数)
第94号	令和5年度前橋市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決及び認定(多数)
第95号	令和5年度前橋市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決及び認定(多数)
第96号	令和5年度前橋市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決及び認定(全員)
第97号	令和6年度前橋市一般会計補正予算	可決(多数)
第98号	令和6年度前橋市介護保険特別会計補正予算	可決(全員)
第99号	令和6年度前橋市産業立地推進事業特別会計補正予算	可決(多数)
第100号	前橋市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正について	可決(全員)
第101号	前橋市手数料条例の改正について	可決(全員)
第102号	前橋市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の改正について	可決(全員)
第103号	前橋市国民健康保険条例及び前橋市福祉医療費の支給に関する条例の改正について	可決(多数)
第104号	公立大学法人前橋工科大学の第3期中期目標の策定について	可決(全員)
第105号	工事請負契約の締結について(六供温水プール解体工事)	可決(全員)
第106号	工事請負契約の締結について(荻窪公園温水利用健康づくり施設改修建築工事)	可決(全員)
第107号	工事請負契約の締結について(荻窪公園温水利用健康づくり施設改修機械設備工事)	可決(全員)
第108号	物品の購入について(はしご付消防自動車)	可決(全員)
第109号	物品の購入について(高規格救急自動車(救急宮城1号車))	可決(全員)
第110号	物品の購入について(高規格救急自動車(救急利根1号車))	可決(全員)
第111号	物品の購入について(消防ポンプ自動車装)	可決(全員)
第112号	市の区域内の町区域の変更及び字区域の廃止について(上細井町ほか)	可決(全員)
第113号	物損事故に係る損害賠償の額を決定することについて	可決(全員)
第114号	教育委員会の委員の任命について(北爪 麻衣子氏)	同意(全員)
第115号	人権擁護委員の候補者の推薦について(河村 史明氏)	同意(全員)
第116号	人権擁護委員の候補者の推薦について(千原 好子氏)	同意(全員)
第117号	人権擁護委員の候補者の推薦について(鎌田 文子氏)	同意(全員)
第118号	人権擁護委員の候補者の推薦について(前原 章一氏)	同意(全員)
第119号	令和6年度前橋市一般会計補正予算	可決(全員)

○議会議案

議案	件名	議決結果
第1号	前橋市議会会議規則の改正について	可決(全員)
第2号	前橋市議会委員会条例の改正について	可決(全員)

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。(○賛成、●反対)

議案番号	会派 議員名	前橋令明								前橋高志会					共産党		公明党		裾フォーラム		かがやき	七	さ	赤	な	わ	ま										
		横山 勝彦	林 幸一	堤 波志芽	阿部 忠幸	鈴木 俊司	新井 美加	須賀 博史	小淵 一明	小岩井 僚太	市村 均光	佐藤 祥平	小曾根 英明	藤江 公隆	富田 清一	笠原 久	窪田 秀明	山田 薫	長谷川 好枝	近藤 久子	小林 直弘	吉田 武	中里 武	石塚 美咲子	新井 照代	高橋 修一	角田 和也	三森 智之	岡田 修一	浅井 雅彦	宮崎 裕紀子	中林 章	近藤 正己	岡 蘭子	入澤 倫史	小林 栄治	
第85号、第86号、第87号 第88号、第89号、第93号 第94号、第95号、第99号 第103号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第97号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	●

*議長は議決に加わらないため「／」で表示しています。

*会派名:共産党(日本共産党前橋市議会議員団)、公明党(公明党前橋市議会議員団)、七(七星)、さ(さきがけ赤城)、赤(赤利根)、な(なないろ)、わ(わくわく前橋)、ま(まえばし維新の会)

意見書

第三回定例会では、意見書案件を可決し、国会などに提出しました。要旨は次のとおりです。

○ブラッドパッチ療法の先進医療体制の充実等を求める意見書

交通事故、スポーツ外傷、落下事故などで受けた強い衝撃によって発症する脳脊髄液減少症によって頭痛や目まい、吐き気など様々な症状に苦しんでいる患者の声を全国各地から寄せられ、平成二十八年度より同症の治療法であるブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）が保険適用となり、それまで高額だった治療費が抑えられるようになった。

また、令和六年度の診療報酬改定において高度な技術を必要とするブラッドパッチ療法の診療報酬が六月一日から引き上げられた。

公的にも脳脊髄液減少症の治療法としてブラッドパッチ療法の評価が確立されつつあるが、全国的に専門的な診療を実施している医療機関が少ないことから患

者の社会復帰に時間がかかる傾向にあり、特に子どもたちはその間、学校に通えず、その後の成長に大きな影響を及ぼすおそれがある。昨年、尾道市立市民病院が行った調査によると、脳脊髄液減少症の患者八百人のうち、約三五％が十八歳未満であり、ブラッドパッチ治療後に七〇％以上が復学できたという結果が出ている。

また、公的な研究報告によると脳脊髄液減少症の症状において約一〇％が保険適用の要件である起立性頭痛がみられないため保険適用が受けられなくなっている。

よって、脳脊髄液減少症の患者の早期社会復帰を進めるとともに公平な医療の提供を実現するため、適切な措置を講じられるよう、次の事項について国に強く要請する。

- ① 脳脊髄液減少症の実態調査を実施し、全国各地にブラッドパッチ療法の先進医療拠点病院の充実を図ること
- ② 脳脊髄液減少症について子どもに特化した研究

及び周辺病態の解明を行うこと③脳脊髄液減少症の症状として起立性頭痛がみられない場合の保険適用に向けて検討すること。

議 会 日 誌

九月から十月までに開催した主な会議は次のとおりです。（内は開催回数です。）

- 本会議④、総務常任委員会③、教育福祉常任委員会③、市民経済常任委員会③、建設水道常任委員会③、議会運営委員会④、各派代表者会議④、正副常任委員長会議①

次号の発行予定

まえばし市議会だよりは定例会の開催結果を中心に発行しています。次号は令和七年二月一日に発行する予定です。

第3回定例会傍聴者数

9月3日(火)	初 日	6人
10日(火)	総括質問	30人
11日(水)	総括質問	51人
26日(木)	最 終 日	3人

ご来場ありがとうございました。

本会議を傍聴しませんか

次回定例会日程(予定)のお知らせ

11月28日(木)	本会議(初日)
12月5日(木)	本会議(総括質問)
12月6日(金)	
12月9日(月)	
12月17日(火)	本会議(最終日)

(日程は変更になる場合があります。)

会議の様子は、インターネット中継でもご覧いただけます。



←インターネット中継
<https://maebashi-gikai.gijiroku.com>

【本会議の傍聴】

- ・本会議の傍聴を希望される方は、本会議開催日に議会庁舎7階の傍聴受付で受け付けます。
- ・傍聴席は一般席、報道関係者席、親子席に分かれています。
- ・一般席及び報道関係者席の傍聴人の定員は75人（車椅子席の定員3人を含む）です。
- ・親子席の定員は7人です。

【手話通訳の申し込み方法】

- ・手話通訳を希望される場合は、傍聴希望日の5日前（土日祝日を除く）までに、FAXまたはメールで申込書をお送りください。（申込書はHPに掲載）

